



Press Release

Maxwell Hall, Public Engagement, Tel.: +41 79 329 3500, Email: maxwell.hall@weforum.org

アイビーリーグ出身の村長、宇宙考古学者、および臓器移植の専門家 - 今年のヤング・グローバル・リーダーズに100人を選出

- 世界経済フォーラムは、100名の男女がヤング・グローバル・リーダーズ (YGL) に選出されたと発表。
- これら40歳以下で構成されるメンバーの中には、中国の村でリーダーを務めるイェール大卒業生、社会起業家たちをはじめ、世界トップレベルの科学者や技術変革を担うイノベーターたちが名を連ねている。
- 彼らは、現在脊髄マヒの治療法の発見、水不足の解消、世界的危機に対応するグローバルネットワークの確立、廃棄物を伴わずに循環する経済の振興などに取り組んでいるリーダー達のコミュニティの一員となる。
- 2017年YGLの詳細は<http://wef.ch/ygl17>を参照のこと

2017年3月15日、スイス、ジュネーブ - 世界経済フォーラムは今年のヤング・グローバル・リーダーズ (YGL) として、世界各地の40歳以下の新進気鋭のアーティスト、ビジネスリーダー、社会起業家、テクノロジーのパイオニア、思想家、そして政策立案者たち100名を選出した。

この中には、モバイルアプリの開発により10万件を超えるアフリカの小規模農家を支える起業家、イェール大を卒業したのち大都会の高所得の職に背を向け、中国の田舎で何百万人もの生活支援に携わる村長、社会的弱者へのセーフティネットを提供するマイクロ保険のパイオニア、そして、遺伝子治療、人工知能、実験心理学、数学の各分野に変革をもたらす科学者たちが名を連ねている。

彼らは、世界各地のあらゆる社会層、様々なステークホルダーを代表するリーダーたちが、進歩を妨げる障害を克服すべく力を尽くすコミュニティ、世界経済フォーラム YGLの一員となる。

現在および既にタムを終えたYGLたちは、各国政府の指導者やフォーチュン誌のランキング上位500社に入る企業的首脳、ノーベル賞やアカデミー賞の受賞者、国連親善大使や社会起業家として活躍している。新たなYGLの一員となる面々は、これからの5年間を互いに協力し合い、世界で最も難しい課題に立ち向かうことが求められる。コミュニティによる様々な活動は[ここ](#)に紹介されている。

2017年のYGLの54%は女性が占め、大半が新興国から選出された。この世代における最高の人材である彼らは、持続的な社会革新を可能とする新たな方法・モデルを模索している。新しいYGL全員の名簿は<http://wef.ch/ygl17>よりダウンロード可能。

「これら若手リーダーたちにYGLコミュニティへの参画を促した。画期的な仕事を行ってきた彼らは、斬新なアプローチで諸問題に対処し、文化を超えて、また、ビジネス、政治、社会の枠の繋ぎ役を担うことができる。彼らは、経済や社会の不備を是正するイノベーションの実現を期待させてくれる」と、世界経済フォーラムで、YGLコミュニティの統括を務めるジョン・ダットン (John Dutton) はコメントしている。

2017年度のYGLは以下の人物で構成される (敬称略)。

- ジャミーラ・アッバース (Jamil Abass) : 価格の透明化と市場参入を通じて、ケニアの小規模農家を振興するエムファーム (M-Farm) の創設者
- エヤド・アルカッサール (Eyad Alkassar) : 中東の企業、ロケット・インターネット (Rocket Internet) の共同創業者であり、現マネージングディレクター。実績のあるオンラインビジネスモデルを、新興の急成長市場で実践するインターネット会社を設立している

- **ミキ・アグラワール (Miki Agrawal)** : 女性の生理用品に代わる特殊下着のブランド、シンクス (Thinx) の創業者
- **シャハラザード・アクバル (Shaharзад Akbar)** : オープン・ソサエティ・アフガニスタン (Open Society Afghanistan) 支部長および、民主的で多角的なアフガニスタンへと導く政治過程にアフガニスタンの若者を動員するためのグループ、アフガニスタン1400 (Afghanistan 1400) の共同創設者
- **マラク・ジハード・アル・アキエリー (Malak Jihad Al Akiely)** : ヨルダンの女性実業家世代をインスパイアする、主要商品商社ゴールデン・ウィート・フォー・グレイン・トレーディング (Golden Wheat for Grain Trading) の創業者、CEO
- **サマール・アリ (Samar Ali)** : 弁護士兼テロ対策担当特別顧問。シリア人とパレスチナ人移民の子としてテネシー州に生まれる。オバマ政権下でホワイトハウス・フェローを務める
- **オマール・アル=マディ (Omar Al-Madhi)** : アブドゥル・ラティフ・ジャミール・インベストメント (Abdul Latif Jameel Investments) 役員。サウジアラビアの雇用創出・維持およびインフラ整備で存在感を持つ
- **バーニス・アン (Bernise Ang)** : ゼロス研究所 (Zeroth Labs) の共同創設者。行動分析に基づく知見を幅広い分野の社会政策に適用することにより、政府や国連などの多国的組織を補佐する
- **パブロ・アロセメナ (Pablo Arosemena)** : ビジネスと政策立案における経験に基づきグアヤキル商工会議所 (Guayaquil Chamber of Commerce) 所長を務めた後、エクアドル商工会議所国民議会 (National Assembly of Chambers of Commerce of Ecuador) 会長に就任
- **ロイス・アウト (Lois Auta)** : ナイジェリアで障がい者の地位向上に尽力。教育や民主的エンパワメントの分野でコミュニティワークを積極的に実践しているシーダー・シード基金 (Cedar Seed Foundation) 代表
- **テリー・ビーチ (Terry Beech)** : カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州の地方議会に最年少で選出される。現在はカナダ下院議員
- **ダン・ベレロウィッツ (Dan Berelowitz)** : 起業家。非営利団体ソーシャル・フランチャイジング国際センター (International Centre for Social Franchising) で、自らと同様の社会的インパクトを与えられる可能性がある社会起業家を支援している
- **エカテリーナ・ベレジー (Ekaterina Bereziy)** : 人工外骨格により脊髄損傷に苦しむ人々を救う、エクソアトレット (ExoAtlet) の創業者兼CEO
- **レベッカ・ファン・ベルゲン (Rebecca van Bergen)** : 地方の職人と世界各地の顧客やサプライチェーンとの橋渡しをするプラットフォーム企業ネスト (Nest) の創業者、代表。「若手起業家によるエンタープライズ100社」に選出され、ホワイトハウスで表彰される
- **モハメッド・アラミ・ベラーダ (Mohamed Alami Berrada)** : モロッコで急成長を遂げている不動産会社ヤスミン・イモビリエール (Yasmine Immobilier) のCEO。また、将来のモロッコを率いる人材を育てる無党派機関、TIZIイニシアチブを通じて、若者の政治・社会活動参画に尽力
- **ルウィトウウィカ・バタチャリア=アガルワル (Rwitwika Bhattacharya-Agarwal)** : インドで90名を超える選出議員と草の根運動を展開し、発展に向けたソリューションを提供する無党派機関スワニティ・イニシアチブ (Swaniti Initiative) を率いる
- **アレハンドロ・ブレネス (Alejandro Brenes)** : コスタリカで太陽光発電およびエネルギー効率の高いソリューションを流通させているエネルギー企業エネルティバ (Enertiva) の共同創業者、CEO
- **アジャ・ブラウン (Aja Brown)** : カリフォルニア州コンプトン市で最年少で選出された市長。ナショナル・アクション・ネットワーク (National Action Network) のマーティン・ルーサー・キング賞受賞
- **セルカン・セレビ (Sercan Celebi)** : トルコ初にして唯一の選挙監視組織の創設者。10万人のボランティアを動員し、選挙の際の透明性、自由、公平性を確保している
- **陈漫 (Chen Man)** : 多作で知られる中国屈指の写真家・ビジュアルアーティスト。極めてスタイリッシュな独特の作風で世界的名声を誇る
- **カルバン・チョイ (Calvin Choi)** : 中国民生投資香港 (China Minsheng Investment Hong Kong) およびAMTDグループの会長および代表を務める、香港金融界のビッグネーム
- **サンギート・ポール・チョーダリー (Sangeet Paul Choudary)** : プラットフォームビジネス、ネットワーク効果、デジタルによりビジネスモデルを変容させるエキスパート。組織の価値を最大限に引き出す新モデルの発見に専心している
- **アブドゥラフマン・シッス (Abdourahmane Cisse)** : コートジボワールの財務相。最年少大臣
- **マシュー・コリン (Matthew Corrin)** : 巨大ブランド設立を目指して立ち上げたカナダの健康志向ファーストフード・チェーン、フレッシュ (Freshii) のCEO
- **モリー・クロケット (Molly Crocket)** : オックスフォード大学の神経科学者兼実験心理学者。特に利他主義、倫理観、価値に基づく意思決定分野の第一人者

- **パーヴェル・ドゥーロフ (Pavel Durov)** : 世界を駆け回るハイテク起業家。データプライバシーに専心し、ロシアで一番人気のソーシャル・ネットワーク、フコンタクテ (Vkontakte) を創出した後、安全性に優れたメッセージプラットフォーム、テレグラム (Telegram) を立ち上げる
- **モハメッド・ムスターファ・フォール (Mouhamed Moustapha Fall)** : アフリカ屈指の科学者。フンボルト・フェローシップ (Humboldt Fellowship) 取得。セネガルのアフリカ数学科学研究所 (African Institute for Mathematical Sciences) 所長
- **范凌 (Fan Ling)** : デザイナー、教授、起業家。彼が設立した会社デザイン (Tezign) は、中国のクリエイティブな若者の主要なマーケットプレイスとして機能している。范は、中国政府が海外に流出した有能な人材を呼び戻すために設立した1000タレントプラン (1000 Talents Plan) に選出されている
- **リオ・ファーディナンド (Rio Ferdinand)** : 元イングランド代表、マンチェスター・ユナイテッド所属のサッカー選手。貧困地域におけるスキルの充実、協調の実践、機会の創出により若年層の失業問題解消に尽力している。リオ・ファーディナンド基金 (Rio Ferdinand Foundation) を設立、ユニセフおよびプリンセス・トラスト (Princes Trust) 親善大使
- **ニリ・ギルバート (Nili Gilbert)** : 米国における数少ないアフリカ系アメリカ人女性ヘッジファンドポートフォリオマネージャーの一人。機関投資家向け資産管理会社マタリン (Matarin) を創業
- **ガブリエラ・エンリゲ・ゴンザレス (Gabriela Enrigue González)** : 女性のマイクロ起業家と有力企業との提携を促すことでその市場参入を支援するメキシコの社会的企業プロスペラ (Prospera) の創設者
- **チド・ゴベラ (Chido Govera)** : フューチャー・オブ・ホープ基金 (Future of Hope Foundation) 創設者、代表。7歳で孤児となり、ジンバブエで貧困から抜け出すべく尽力。現在は貧困層の生活改善を支援する活動家としてマッシュルーム栽培を指導し、世界各地を飛び回っている
- **シーロ・ゲラ (Ciro Guerra)** : 映画監督。先住権、文化遺産の保護、ラテンアメリカの多様性といった重大なテーマを、心を打つ映画表現を通じて発信している
- **モナ・ハンマーミ (Mona Hammami)** : アブダビ皇太子担当高官。経済開発および社会政策イニチアチブを担当
- **オスマン・ハニーフ (Osman Haneef)** : パキスタンのマイクロ保険プロバイダー、MILVIKモバイル (MILVIK Mobile) 代表。社会的弱者へセーフティネットを提供する金融包摂を推進している。現在加入者は16ヶ国2400万件に上り、その大半がこれまでに保険加入経験がない
- **長谷川教弥 (Atsumi Hasegawa)** : 学習支援サービスのパイオニア。ADHDに関する経験をもとに、青年・未成年障がい者の就職を支援する株式会社リタリコ (Litalico) を率いる。2016年東京証券取引所で株式公開。
- **ブラッド・ヘンダーソン (Brad Henderson)** : ボストン・コンサルティング・グループ (Boston Consulting Group) で主に経済・社会開発分野に熱意を注ぐパートナー。シカゴ在住。地元の貧困層の生活改善のために複数のイニチアチブを実践
- **ケイティ・ヒル (Katie Hill)** : アップル社の野心的なクリーン・エネルギー・プログラムを推進するイノベーター。世界各地における同社の製造に使用する電力を再生可能エネルギーでまかなうことを目指す
- **フロリアン・ホフマン (Florian Hoffmann)** : 教育家、政治哲学者、社会起業家。ドゥースクール (D0 School) を創立し、社会的インパクトやグッドビジネスを中心としたトレーニングプログラムを通じて、若い起業家たちを世に送り出している
- **クリスティーン・スー (Christine Hsu)** : UBSのアナリストから瞬く間に常務取締役役に就任した、金融界の新星。金融業界の重鎮に働きかけ、女性の地位向上のイニチアチブを実践していることで知られる
- **リディ・ハドソン (Lydie Hudson)** : 元カウンシル・オブ・アーバン・プロフェッショナル (Council of Urban Professionals) フェロー、現クレディ・スイス最高執行責任者。総勢700名を超える多様な人材からなる専門家チームを管理する
- **ロベルト・イバーラ (Roberto Ibarra)** : ハイテク起業家、イノックス (Innox) のCEO。社会的インパクトのある優秀なアプリを複数デザインし、その一つはモバイルワールド कांग्रेसで世界最優秀アプリにノミネートされている
- **ラムジ・ジャベル (Ramzi Jaber)** : データサイエンス、テクノロジー、デザイン、ジャーナリズムを駆使して世界の重大な社会問題に取り組むビジュアライジング・インパクト (Visualizing Impact) を主催
- **アンクール・ジャイン (Ankur Jain)** : 連絡先管理プラットフォームを開発し、デートアプリ、ティンデル (Tinder) に売却したハイテク企業フミン (Humin) の共同創設者、CEO。世界で最も困難な問題に対応するソリューション創出を目指す若手起業家たちの組織、カイロス・ソサエティ (Kairos Society) も設立している

- **ラナ・エル・カリウビ (Rana El Kaliouby)** : アフェクティバ (Affectiva) の共同創業者、CEO。デジタル動画で撮影した顔の表情からその人の感情を読み取る「感情認識」技術を開発している
- **フェーティン・カレル (Faten Kallel)** : チュニジア新政府により若者担当大臣に任命される
- **シラ・カプラン (Shira Kaplan)** : サイバーセキュリティのエキスパート。イスラエル軍技術情報部に勤務したのち、サイバーセキュリティ会社サイバース (Cyverse) を立ち上げる
- **ニーマ・カセイユ (Neema Kaseje)** : 国境なき医師団所属の小児外科医。世界の貧困地域の子供たちに医療へのアクセスと、安全で時宜を得た外科治療を供給するべく尽力している
- **サム・カス (Sam Kass)** : フード業界の起業家。ホワイトハウスで食料政策アドバイザーおよびシェフを務める。大小の企業と提携し、健康、気候、地球を食料から変革することを目指す専門家集団トローブ (Trove) を立ち上げる
- **ゴーンソン・カリド (Ghosson Khaled)** : 中東屈指の大規模な建設・コンクリート会社、ACICOインダストリーズ・カンパニー (ACICO Industries Company) の最高執行責任者
- **アダム・キンジンガー (Adam Kinzinger)** : 元米国空軍パイロット、現共和党下院議員。退役軍人の生活改善政策で頭角を現す
- **インサ・クラシング (Insa Klasing)** : 基本教育の普及を推進し、ヤム! (YUM!) ブランドの最年少ゼネラルマネージャーに就任した、飲食ブランディングのエキスパート
- **ジュス・リー (Jess Lee)** : シリコンバレー有数のベンチャーキャピタル、セコイア・キャピタル (Sequoia Capital) 初の女性米国人パートナー。ファッション・テックサイト、ポリボア (Polyvore) を立ち上げたのち (同サイトは2015年にヤフーに2億ドル以上で売却)、現在は他のスタートアップ創業者の顧問を務める
- **ナイシュラ・レシュューダ (Naisula Lesuuda)** : 地域の女性の権利拡大に専心する、ケニア議会最年少の女性
- **マリー・ローラ=ムンガイ (Marie Lora-Mungai)** : メディア起業家。アフリカのコンテンツの開発、資金調達、製造、アフリカ内外への配信に焦点を当てるグローバルスタジオ、レストレス・グローバル (Restless Global) および、アフリカ随一のオンデマンド動画サービスを提供するBuni. tvの共同創設者
- **ブリー・ロスコタ (Brie Loskota)** : 南カリフォルニア大学宗教・市民文化研究センター (Center for Religion and Civic Culture) 事務局長。政府機関と協調し、公衆衛生に関し宗教関連の各団体とより効果的な提携を確保すべく尽力。イスラム教徒とユダヤ人からなる協調を模索する団体ニューグラウンド (NewGround: A Muslim-Jewish Partnership for Change) など、複数のコミュニティグループにも深くかかわっている
- **エミリア・マカリー (Emilia Macarie)** : アリアンツ社で有望視されているリーダーの一人。金融・保険のエキスパートで、10億ドルを超える収益責任を担う
- **ミュシ・マイマネ (Mmusi Aloysias Maimane)** : 南アフリカ最大野党民主同盟の党首。ソウェト出身で、教会の牧師としてコミュニティの指導にもあたっている
- **ナディーン・マシューズ (Nadeen Matthews)** : ジャマイカ国立商業銀行 (National Commercial Bank of Jamaica) のデジタル&マーケティング部長。ジャマイカ最大の金融サービス機関の最年少女性役員
- **ビリー・マワシャ (Billy Mawasha)** : 南アフリカの大手採掘企業アングロ・アメリカン (Anglo American) で最高執行責任者として企業倫理を推進。職場の安全性を高め、地域のコミュニティとの関係を強化するイニチアチブをリードする
- **ヤスミナ・マッカーティ (M. Yasmina McCarty)** : モバイルテクノロジーのエキスパート。GSMアソシエーションのモバイル・フォー・デベロップメント (Mobile For Development) 代表。持続可能な発展のための革新的なソリューションを推進
- **マリア・ソレダド・ヌニェス・メンデス (Maria Soledad Nuñez Mendez)** : 31歳で最年少大臣としてパラグアイの住居・居住環境大臣に就任。女性としても初のリーダーシップを担う
- **レベッカ・ミングエラ (Rebeca Minguela)** : インベスト (Inbest) の創業者兼CEOとして数々の事業を手掛け、スタートアップのアドバイザーを務める。サンタンデール・グループ (Santander Group) の顧問を務め、グローバルインパクトレーティング (Global Impact Rating) を確立。不均等な資本配分問題に取り組むハーバード・イノベーション・ラボ (Harvard Innovation Lab) に抜擢される
- **アンバリッシュ・ミトラ (Ambarish Mitra)** : 拡張現実テクノロジー起業家。15歳で家を出てニューデリーのスラムで暮らし始める。17歳で55人を雇用。20年後、15億ドルのビジネス価値を持つ携帯電話アプリ、ブリッパー (Blippar) を開発、代表を務める
- **ジェシー・ムーア (Jesse Moore)** : オフグリッドの顧客にプリペイドで電力を供給するエム-コパ (M-Kopa) の創業者。東アフリカの何万もの家庭に太陽光による電力を供給している
- **マイク・モラディ (Mike Moradi)** : ナノテクノロジーやバイオ製薬会社を数社立ち上げたのち、現在は1型、2型糖尿病に1日1回のソリューションを提供することを目指すセンシュリン (Sensulin) を共同で創設、CEOを務める

- **クラウディア・オルソン (Claudia Olsson)** : 起業家、元スウェーデン外務省顧問。社会的弱者の生活改善のためのテクノロジーを利用した政策立案に貢献
- **マキシム・オレシキン (Maxim Oreshkin)** : 近年ロシア連邦の経済開発大臣に任命される
- **尾崎ヒロミ (Hiromi Ozaki)**、通称**スプツニ子! (Sputniko!)** : アーティスト、マサチューセッツ工科大メディアラボ (MIT Media Lab) 教授。新たなテクノロジーの社会的、文化的、倫理的意味合いに、しばしばジェンダー問題の視点から切り込んでいる
- **イルッカ・パーナネン (Ilkka Paananen)** : モバイルゲームアプリを世界配信するスーパーセル (Supercell) の共同創設者。同社は2年間で25億ドルの売り上げを達成。利益でミー基金 (Me Foundation) を設立し、フィンランドの社会不平等や恵まれない子供たちおよび家庭の社会的排除の問題に取り組んでいる
- **サラ・パーカック (Sarah Parcak)** : グローバルエクスプローラー (GlobalXplorer) 取締役。衛星を利用して古代の秘宝を探す考古学者。これまでに発掘されているのは全体の0.001%に満たないと推定する
- **秦岳飛 (Yuefei Qin)** : イェール大を卒業後、大都会で高所得を得る道を選ばず、中国の田舎の村の運営に従事する。他のイェール大卒業生とともに、中国各地の村のリーダーや起業家たちの地位向上を支援する非営利団体サーブ・フォー・チャイナ (Serve for China) を創設。村人、NGO、地方自治体による貯水池や道路の建設、地域の学校用のオンライン教育プラットフォーム設置に尽力する
- **マリハ・カディーア (Maliha M. Quadir)** : 実業家、ハイテク起業家。スタートアップ企業ショホジ (Shohoj) はバングラディッシュの輸送業界の数値化に成功
- **ラペラング・ラバナ (Rapelang Rabana)** : ハイテク起業家。学習機能を高める革新的なデジタルオンラインツールを利用した教育を提供する企業レキンドル・ラーニング (Rekindle Learning) を経営
- **ニーナ・ラワル (Nina Rawal)** : 北欧の産業開発基金インダストリフォンデン (Industrifonden) の生命科学部長。ヘルスケアおよび生命科学の権威で、いまだ満たされていない医療ニーズを満たすべく、生物医学技術とベンチャーキャピタルとの橋渡しに尽力している
- **シェイラ・レゼピ (Sheila Redzepi)** : 世界銀行最年少の副総裁。前職ではユニリーバの企業・サステナビリティ戦略部長として、ヨーロッパにおける同社の事業拡大並びにそれに伴う環境への影響の抑制、社会的インパクトの向上を担当した
- **ライハン・サラム (Reihan Salam)** : 米国で強い影響力を誇る保守系政治コメンテーター。貧しい家に生まれたが、35歳で「ナショナル・レビュー (National Review)」誌の編集長に抜擢される
- **エドワード・サントウ (Edward Santow)** : オーストラリアで最も影響力を持つ人権・公共政策擁護者の一人。オーストラリアの国立人権機関である公益擁護センター (Public Interest Advocacy Centre) の最年少センター長
- **ヒンドゥール・セングプタ (Hindol Sengupta)** : ブルームバーグTVのプライムタイムにインタビュー番組を持つ最年少のジャーナリスト。著述家。現在、インドの大手ビジネス誌の総合監修を務める
- **スタヴ・シャフィア (Stav Shaffir)** : イスラエル史上最年少の女性議員。入植地建設資金の徹底的な見直しを声高に主張し、イスラエルの若者にも購入可能な価格の住宅から女性や難民の権利まで、様々な社会政策に幅広く取り組んでいる
- **ビジェイ・シェカル・シャルマ (Vijay Shekhar Sharma)** : 起業家。貧しい家庭に生まれ、15歳でカレッジに入り、ここで立ち上げたウェブサイトを2年後に100万ドルで売却。その後30億ドルを超える資産価値を誇るインド最大のモバイル決済プラットフォーム、ペイティーエム (Paytm) を創業
- **シュルティ・シブラル (Shruti Shibulal Shruti)** : インドの高級リゾート、ザ・タマラ・クールグ (The Tamara Coorg) の戦略・開発担当取締役を務めるサービス業界の第一人者。ベンガルールに高級レストラン2件をオープンし、現在ケララ州にホテルを建設中
- **ナブリナ・シン (Navrina Singh)** : ハイテクイノベーター。最も破壊的なテクノロジーを複数手掛け、マイクロソフトのビジネス開発部長として、モノのインターネットを融合させた人工知能関連の新事業を立ち上げるチームを率いる
- **リチャード・ソシェ (Richard Socher)** : セールスフォース (Salesforce) のチーフサイエンティスト。人工知能とディープラーニングに造詣が深く、その飛躍的なテクノロジーは自然言語処理とコンピュータービジョンを大きく変容させている
- **アールティ・タコールディーン (Aarti Takoordeen)** : ヨハネスブルグ証券取引所最高財務責任者 (CFO)
- **ホイ・リン・タン (Hooi Ling Tan)** : タクシー配車アプリの提供で他のハイテク企業を凌駕するグラブタクシー (GrabTaxi) の共同創業者。東南アジアの30を超える都市で業界を揺るがせている。安全な交通に焦点を当て、世界銀行と協力して交通渋滞の解消に努め、運転手の収入30%アップを実現
- **ロドリゴ・タバレス (Rodrigo Tavares)** : ブラジルにおけるインパクトエコノミーのエキスパート。ハーバード大学ケネディスクールのシニア・リサーチフェロー。元サンパウロ州政府外務長官

- **ナツネット・テスファイ (Natznet Tesfay)** : IHSマーケット (IHS Markit) のシニアディレクター。アフリカのリスク管理の専門家、エネルギーおよび採掘部門におけるインフラ整備と政治的発展の影響力を重視した貧困の緩和政策を推進
- **グレイブス・トンプキンス (Graves Tompkins)** : ジェネラル・アトランティック (General Atlantic) 取締役兼キャピタルパートナーリンググローバル部長。未公開株式の専門家、個人や基金による寄付の人的インパクトを最大限に引き出し、金融界にとどまらない実績を誇る
- **ガンゾリグ・ウルチバヤル (Ganzorig Ulziibayar)** : モンゴル最大級の金融グループゴロムト銀行 (Golomt Bank) のCEO。モンゴルにおける教育および金融業界の水準向上を標榜し、ビジネス界のみならず政府とも協調している
- **リサ・ウォーカー (Lisa Walker)** : エコスフィア+ (Ecosphere+) のCEO。地球温暖化のエキスペート。炭素資源、および森林保護や持続可能な土地利用プロジェクトを通じて持続可能な方法で生産された商品市場の拡大を推進
- **ダグラス・C・K・ウー (Douglas C K Woo)** : 香港の不動産会社ウィーロック・アンド・カンパニー (Wheelock and Company) 会長。香港最年少リーダーの一人。水球のプロ選手としてのキャリアを持ち、2006年アジア大会に出場。100を超える社会プログラムやアクティビティを誇る百仁基金は、8万人以上の若者に資している
- **アリシア・ウッズ (Alicia Woods)** : サドベリーのマイニング・サプライ・アンド・サービス協会 (Mining Supply and Service Association) 執行委員に抜擢された初の女性。マーコット・マイニング社 (Marcotte Mining) ゼネラルマネージャーを務める
- **ルーハン・ヤン (Luhan Yang)** : イージェネシス・バイオサイエンス (eGenesis Biosciences) のチーフサイエンティスト。ゲノム編集の世界的権威。「ワイアード (Wired)」誌が「悪いところを取り去って哺乳類の体に戻せる遺伝子編集技術」と表現し、「サイエンス・マガジン (Science Magazine)」誌で2015年ブレークスルー賞に選出された革新的なゲノム編集ツール「CRISPR-Cas9」を共同開発
- **ファルザナ・ヤクオブ (Farzana Yaqoob)** : カシミール自治政府の社会福祉・女性開発担当大臣。カシミール政界で選出された二人目の女性で、紛争地帯において女性の地位向上と社会保障に取り組む最も啓蒙的なリーダーの一人と評されている
- **ペイ・ロウ・ヨー (Pei Lou Yeoh)** : 教育業界の社会起業家。テクノロジーを使用した、革新的な学習方法を導入
- **ニノ・ザンバキツゼ (Nino Zambakhidze)** : ジョージア農民連合 (Georgian Farmer's Association) 会長。ジョージアの農業部門を小規模地主に焦点を当てて改革、農家の結束を固めている
- **張鋒 (Zhang Feng)** : マサチューセッツ工科大およびハーバード大の共同研究機関ブロード研究所 (Broad Institute) の中核メンバー。世界的名声を誇る若手科学者の一人で、臓器の遺伝子コードを操作する画期的な遺伝子編集技術「CRISPR」のパイオニア
- **リウ・ジーホン (Liu Zihong)** : ビジネスマン。彼が設立したハイテク企業ロイヤル・コーポレーション (Royole Corporation) は、6年足らずで資産10億ドル単位の大企業に成長。フレキシブルスクリーンとセンサー技術で、中国をリードする企業としての成長が有望視されている
- **邹昊 (Hao Zou)** : 起業家。清華大学学際的情報科学研究所主任教授。2015年、ピムコ・アメリカズ・ポートフォリオ委員会 (PIMCO Americas Portfolio Committee) に最年少の永久会員の一人として指名される。人工知能により金融業界の効率化を目指すフィンテック企業を経営。清華大学フィンテックセンターを共同で設立

過去には、ドーティ・ストリート・チェンバース (Doughty Street Chambers) 所属の法廷弁護士**アマル・クルーニー (Amal Clooney 英国)**、アリババ・グループ会長**ジャック・マー (Jack Ma 中華人民共和国)**、ヤフーUSAのCEO**マリッサ・メイヤー (Marissa Mayer アメリカ)**、オスカー受賞歴を持つドキュメンタリー映画監督**シャルミン・オバイド=チノイ (Sharmeen Obaid-Chinoy パキスタン)**、グーグルUSAの共同設立者でありCEOの**ラリー・ページ (Larry Page アメリカ)**、TAM航空CEOの**クラウディア・センドル・ラミレス (Claudia Sender Ramirez ブラジル)**、イタリア首相**マッテオ・レンツィ (Matteo Renzi 在職期間2014~17年)**、マラグループ設立者でマネージング・ディレクターの**アシシュ・J・タッカー (Ashish J. Thakkar アラブ首長国連邦)**、宇宙飛行士兼搭乗運用技術者でSTS-131「ディスカバリー」ミッションのクルーを務めた**山崎直子 (やまざき なおこ 日本)**、女優で国連開発計画親善大使の**周迅 (Zhou Xun 中華人民共和国)**などがYGLに選出されている。

編集者向け注記 :

2017年のYGLに関する詳細な情報は以下を参照のこと。<http://wef.ch/ygl17>

新しいYGLの名簿はブログ「[Agenda](#)」に掲載されている。

ヤング・グローバル・リーダーズに関する詳細な情報は、[ウェブサイト](#)を参照のこと。

ツイッターでフォローする：<http://twitter.com/YGLvoices>

フェイスブックでファンになる：<https://www.facebook.com/YoungGlobalLeaders>

YGL候補者の推薦は公式[ウェブサイト](#)にて受け付ける。

世界経済フォーラム ヤング・グローバル・リーダーズについて

「ヤング・グローバル・リーダーズ」は、世界経済フォーラム創設者で会長のクラウス・シュワブ (Klaus Schwab) により2004年に創設された。多種多様なステークホルダーが関与する独自のコミュニティで、900人の傑出した若きリーダーたちがその名を連ねる。大胆で勇敢、行動志向の起業家精神にあふれた各メンバーが、より良い世界の創造を目指し、同フォーラムに自らの時間と才能を投じる。フォーラムでは毎年、専門分野における業績、社会に対する献身、そして世界の未来形成に向けた貢献の可能性に基づき、世界中の優秀な若き指導者たち約100名を表彰している。

世界経済フォーラムについて

世界経済フォーラムは、世界情勢の改善に取り組む、官民協力のための国際機関である。

当フォーラムでは、政治、ビジネス、その他各界のリーダーが、世界、地域および産業におけるアジェンダの形成に携わる (www.weforum.org)。



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>